

ジャンル / 短歌

Tanka (tanka poem)



三宅 千代

MIYAKE Chiyo

代表作

『夕映えの雲 亡き夫に』(1982 年)

『月の虹 歌集』(1985 年)

編纂『白い鳥総合歌集』

(1988 ~ 1997 年)

『冬のかまきり』(1989 年)

『宇宙の塵』(1995 年)

『鴉のくる家』(1997 年)

『晩鐘の湖』(2000 年)

『生きてよかりき』(2004 年)

ほか多数

活動略歴

- 1918 年 愛知県名古屋市にて眼科医の家系に生まれる。愛知県立第二高等女学校(現・県立名古屋西高等学校)卒業後、東京女子大学国文科へ入学。在学中に歌誌「詩歌」に入会し、前田夕暮に師事。
- 1942 年 東京女子大学卒業後結婚した夫が軍医として太平洋戦争に召集。その後戦地にて亡くなったと伝えられたが、3年後生還する。
- 1949 年 実家の杉田眼科に就職。
- 1953 年 夫婦で眼科医院開業。
- 1967 年 夕暮の長男・前田透のすすめで作歌を再開。
- 1982 年 『夕映えの雲』で第16回新美南吉文学賞。中高生向けの短歌雑誌『白い鳥』主宰し9年間継続、黒瀬珂瀾を輩出する。
- 1988 年 『冬のかまきり』で第17回日本歌人クラブ賞。
- 1990 年 『冬のかまきり』で第17回日本歌人クラブ賞。
- 1994 年 名古屋市芸術賞特賞及び中部日本歌人会梨郷賞。「秋楡短歌会」を主宰。
- 2017 年 没。

参考／『夕映えの雲 亡き夫に』三宅千代・著

(1982 年 朝日新聞名古屋本社編集制作センター)

MIYAKEI Chiyo (1918– 2017/ Tanka Poets)

Born in Nagoya City. A girl who loved literature, she came from a family of ophthalmologists.

As a university student, she studied under MAEDA Yugure, who was famous for his tanka poetry.

After her husband returned from the Pacific War, she resumed her ophthalmology practice and resumed writing tanka poetry.

She also organized a tanka booklet for junior high and high school students, and helped to nurture famous tanka poets.

ジャンル / 短歌

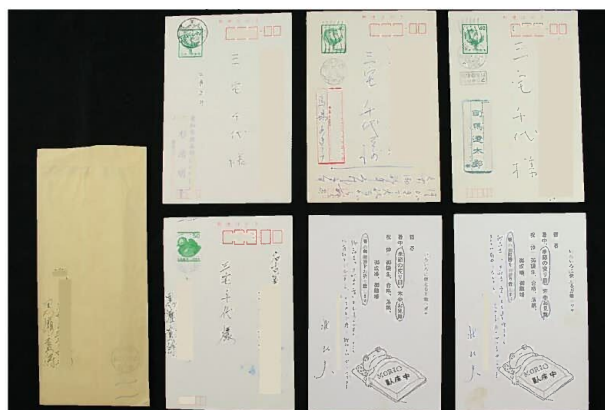
Tanka (tanka poem)

名古屋市収蔵の資料
／三宅千代

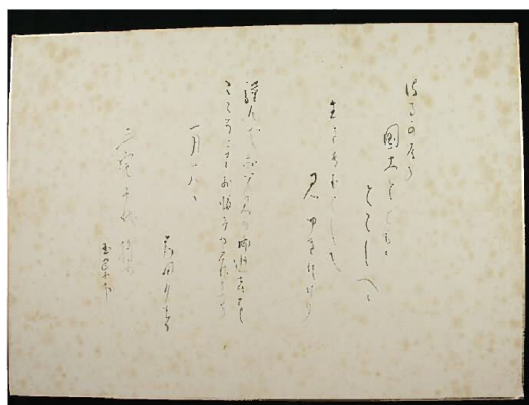
(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to MIYAKE Chiyo in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.

←『白い鳥』は結社誌『詩歌』の1コーナーとして出発し発展。表紙用の版画家・松田熙氏の原本。鳥がアイコンとして入っている。入会した子どもは全国にわたり、90人を超えた。1997年、78号を数え終刊。



↑上段右より：司馬遼太郎(小説家)、馬場あき子(歌人)、杉浦明平(小説・評論)、
下段右より：北杜夫/2枚(小説家)、黒瀬珂瀾/葉書・封筒。



↑前田夕暮直筆のもの。三宅千代氏の父親が亡くなった際(昭和20～21年頃)、挽歌として前田夕暮が詠み、筆を起こして贈ったもの。その数年後前田夕暮は昭和26年に没している。個人に贈られた歌であるためこれまで発表されたことはなかったが資料として価値がある。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。